

市内に掲示されるポスターと、スタッフが着用するTシャツ。鈴鹿市役所で

走り高跳び 優勝を

小学生 陸上 鈴鹿・箕田小の太田さん



初の全国大会に気合の入る太田さん＝鈴鹿市の鈴鹿高専で

鈴鹿市南堀江一、箕田小学校六年の太田ひまりさん(こ)が横浜市で八月二十四日に開幕する全国小学生陸上競技交流大会に、女子走り高跳びの県代表で出場する。初の全国大会に「優勝を目指したい」と張り切っている。

大会は日本陸上競技連盟主催。運動が得意な太田さんは「苦手のマラソンでも勝った」と昨年四月に地元の上チーム「ASS」に入り、陸上を始めその直後の県予選では、薦められて出場した走り高跳びで6位となり「来年はいける」と自信を付けた。

指導するアッサの大井和夫監督も「センスがある」と直感。体の使い方や跳び方を徹底的に指導し、今年六月の県予選では自己最高の一三二センチをクリアして県代表になった。小学生は背面跳びではなく、授業で習うはさみ跳び。長い脚から踏み出すばねを使い、巧みにバーを跳び越える。太田さんは「大会では一四〇センチが目標。五輪に出るのが夢」と笑顔で話す。

大会には、太田さんのほか、鈴鹿市からは旭が丘小五年の林哉太君が五年生百メートル、井田川小六年の服部凌也君が男子ソフトボール投げに出場する予定。(村瀬力)

NHK杯 放送コンテスト 会内で

